

ロンドン五輪出場決定

トランポリン伊藤正樹選手



学校関係者や仲間から祝福を受ける伊藤選手 = 3号館前

金沢学院大学大学院経営情報学研究所1年の伊藤正樹選手がトランポリンの世界選手権個人で銅メダルを獲得し、ロンドンオリンピックの日本代表に決まりました。

伊藤選手は東京都出身で金沢学院東高校にトランポリン留学し金沢学院大学を経て今年から大学院に進んだばかり。今季世界ランキング1位の伊藤は、日本のエース「ロンドンの星」としてメダル獲得が有望視されています。

帰国後、飛田秀一理事長にオリンピック出場決定を

報告した伊藤選手は「ようやくスタートラインに立ててほしいです。これで目標がしっかり定まったのでこのあとの一日の練習を大切に、一番いい色のメダルを取れるようにしたい」と強い意欲を示しました。

岸選手ら最終選考へ

伊藤選手とともに世界選手権に出場したスポーツ健康学部1年の岸彩乃選手は今決めることができず、来年1月の五輪最終選考会での健闘が期待されます。

また、男子の出場残り1枠を狙って、法人職員の山口学選手、経営情報学部3年の島田諒太選手も意欲をみなぎらせています。

国際的な不正を防止

下山金沢国税局長が講義

金沢学院大学経営情報学部特別講義が12月1日4号館講堂で行われ、下山宏金沢国税局長が「税の役割と税務署の仕事」と題して2年生約250人に講義しました。国内と海外の税制度の違いを利用して税負担を回避しようとする不正行為への対応や、査察調査が近年国際的になっていることなど、興味深い税務署の仕事内容が紹介されました。



税について講義する
下山局長 = 4号館講堂

また、インターネットを利用して税の申告や納税ができる「e-Tax」についても説明がありました。

富さんが合格を報告 第7回金沢検定



喜びの富さん

金沢学院大学経営情報学部3年の富香津希さんが社団法人金沢経済同友会の主催する「金沢検定」初級合格を資格支援センターに報告しました。確認できる範囲では富さんが学生で初合格となります。

富さんは受験の動機を「目指す地元企業への就職を意識して」とのこと。来年は、さらに他の資格同様、上の中級合格を目指しますと目を輝かせていました。

なお、これまで教職員では中級14人、初級49人が合格しています。

県内私立大学最多 教員採用試験合格

石川県教員採用試験に昨年度は8人、今年度は5人が合格。累計で134人を数え、県内私立大学では最多を誇ります。